



# 希望の鐘 *The Bell of Hope*



The Y's Men's Club of Kawagoe  
〒350-0046 川越市菅原町7-16

## 川越ワイズメンズクラブ会報

No. 21-3

9月号

発行 2019年9月9日

Chartered 1998

クラブ会長主題 「20周年を次の20年へ!!」  
 国際会長主題 “Building Today for a Better Tomorrow”  
 「より良い明日のために今日を築く」  
 アジア太平洋地域会長主題 “Action” 「アクション」  
 東日本区理事主題 「勇気ある変革、愛ある行動！」  
 “Innovation with courage, action with heart!”  
 関東東部部長主題 「紡ぐ ワイズのこころ」

会長 吉野 勝三郎  
 副会長 松川 厚子  
 会計 山崎 純子  
 書記 利根川 太郎

### 9月の聖書

信仰とは、望んでいることがらを確信し、見えない事実を確信することです。

(ヘブライ人への手紙 11章1節)

Faith is being sure of what we hope for and certain of what we do not see.  
(Hebrew 11:1)

### 8月例会報告

利根川 太郎

#### 1. “納涼例会”

モディ川越屋上のアメリカンBBQガーデンにて納涼例会としました。直前に雨が降り始め、開催が心配されましたが、例会直前に雨も上がり、楽しい、食べ放題・飲み放題のバーベキューとなりました。

特に、松川厚子副会長が元気になられて例会に参加して下さったことは、うれしいことでした。さらに山本ワイズがご一家そろって参加で、お二人のお嬢さんが会場の舞台上で歌い、踊る姿も微笑ましく、この会場での納涼例会は盛会でした。

周りの騒音にもめげず、吉野会長を中心にしっかり連絡・協議も行われました。



### 2019年8月の統計 (8月31日)

在籍10名 出席者7名

出席率 70%

生川さん、山本さんご一家ゲスト参加

### 2019年 9月 例会予告

日時: 9月28日(土) 午後16:00~18:00

場所: 川越YMCA

- 議題: 1. 卓話 「BF代表アフリカ訪問報告」  
 東京クラブ 比奈地康晴ワイズ  
 2. 埼玉県内3クラブ合同例会内容検討  
 3. 「紅あか」ファンズ今年度活動予定  
 4. わいわい食堂トライアル第2回準備  
 5. その他

## 2. 出席者確認

## 3. 報告

### 1) 川越クラブバス旅行 (吉野会長)

・3月31日(火)に予定しているバス旅行についていくつかの案を考えている。

- ① 富岡製糸場とこんにやくパーク  
群馬県富岡市  
・手作りこんにやく体験  
・JTB見積 約300,000円
  - ② いすゞプラザ  
神奈川県藤沢市  
・ジオラマ見学、トラック運転席乗車
  - ③ 筑波宇宙センター  
茨城県つくば市  
・展示見学(見学ツアーもある)
  - ④ テピア先端技術館  
東京都港区北青山  
・ロボットプログラミング体験など
- ・9月3日(火)にいすゞプラザを吉野会長と利根川で見学した。

### 2) 第1回わいわい食堂(子ども食堂)実施報告

- ① 実施日時  
2019年8月27日(火) 12:00~15:30
- ② 会場: 埼玉YMCA川越センター
- ③ 参加児童: 15名(うち保育園児1名)
- ④ ボランティア  
・わいわい食堂代表  
伊勢 国望さんほか3名  
・アート・インストラクター 新井 壽代  
・バルーンアート 杉浦 和夫  
・川越ワイズメンズクラブ  
生川、河合、利根川  
・川越センター職員(河合)、近山
- ⑤ プログラム  
10:30 ボランティア集合、打ち合わせ、  
会場設営・調理開始  
11:45 受付  
12:00 開会、自己紹介、名札作り(2階)  
12:10 昼食  
13:00 わくわく工作  
14:15 遊び(卓球、オセロなど)  
15:00 バルーンアート  
15:30 閉会
- ⑥ フィードバック  
・概ね成功。子どもたちが楽しそう。最終的には、児童、保護者対象のアンケート結果を参照。  
・調理開始時間を早める。  
・盛り方が多すぎた。少なめにしてお代わりを奨励する。  
・プログラムが盛りだくさん過ぎて、忙しい感じ。次回は1つ減らす。  
・こちらが狙いとしている子どもが来たかどうかは不明。今後見守る。

### ⑦ 第2回「わいわい食堂」

日時: 2019年9月29日(日)12:00~15:30

会場: 埼玉YMCA川越センター

募集人数: 小学生15名

内容: 昼食(パスタ・ミートソース、  
ポテトサラダ)  
学習タイム(国語、算数、英語)  
体験タイム(おもしろ理科実験、  
外国の遊びなど)



### 3) Change!2022 ニュース購読のお願い

「Change!2022」は、ワイズ創立100周年となる2022年をゴールとする東日本区の会員増強運動です。目標とする人数は、1997年に東日本区が発足したときの会員数1246名です。この目標を達成するために、会員増強に関連するニュースを発信しようと、東日本区では「Change!2022 ニュース」を毎月15日に発行致します。是非お読みいただき会員増強活動のヒントにいただければ幸いです。この《ニュース》を読むことによってお互いに刺激をもらい、与えあうために会員の皆様からも、会員増強に関連する記事の寄稿・投稿をお願いします。

- ・新クラブを立ち上げている
- ・こんな会員の誘い方がある

- ・新入会員の感想
  - ・新しい会員増強のヒント
- など、どのようなテーマでも随時受け付けてますので、記事をお寄せ下さい。  
記事の送り先は、編集長（東京むかでクラブ・伊丹一之ワイズ）の下記のアドレスへお願い致します。

[itami@tailor-itami.com](mailto:itami@tailor-itami.com)

なお、ワイズドットコム、会員全員メール(ロースターに登録のある方)で配信しております。また、東日本区ホームページにも掲載されます。  
Change!2022 推進委員会

#### 4. その他

##### 1) 富士山部部大会および下田クラブ 40 周年記念例会の案内

日時；令和元年 9 月 29 日(日)

受付 10：00～10：30

- ・第 1 部 富士山部部大会
- ・第 2 部 下田クラブ記念例会
- ・第 3 部 懇親会

会場；ホテル伊豆急

##### 2) ワイズポテト

十勝ワイズメンズクラブのファンド事業です。

- ・申込期限；9 月 10 日(火)
- ・申込先 山本雅之

080-5594-7784 Fax0156-66-3565

mail；samu\_yama2010@yahoo.co.jp

##### 3) 川越環境ネット

###### ①川越西部地域の水と緑の視察

～小畦川流域尾巡るスタディツアー～

- ・実施日；9 月 20 日(金)

集 合；8：15 ウェスタ川越

南公民館入り口付近

- ・参加費；2,000 円
- ・定 員；先着 25 名
- ・申込み；川越環境ネット事務局

049-224-5866

###### ②川越まつり会場クリーン活動

- ・開催日；2019 年 10 月 19 日 20 日
- ・集合場所；川越市中原町 1-2-11 東側地先の「川越環境ネット」テント
- ・活動時間；11：00 から 21：00 までの 2 時間単位
- ・活動場所；川越まつり会場と周辺
- ・申込先；渡辺 Tel/Fax049-242-4322  
菊地携帯 080-5546-2362

Email:kikum.autumn@gmail.com

#### 5. 次回例会

9 月 28 日(土)16：00

川越 YMCA

- ・東京クラブ・比奈地康晴さんの BF 代表アフリカ訪問についての卓話を予定しています。楽しいお話となりそうですので、家族、友人、知人をお誘いの上ご参加ください。

#### 連続特別寄稿：シアトルだより

退職後、米国シアトルに語学留学中の森下千恵子ワイズが、毎月、貴重な経験をブリテンでシェアしてくださることになりました。まずは、第 1 報です。

#### シアトルだより 1

～7 月 4 日独立記念日花火編～

森下 千恵子

今年の 3 月に 35 年勤めました某市役所を定年退職し老後破産を心配しつつも、ええいままよ！とシアトルで 7 月から学生生活をしています。

私はフェデラルウェイというシアトルの郊外に住んでいます。皆さんの知っているダウンタウンシアトルのバイクプレイスやスペースニードルからライトレイルとバスで 1 時間ぐらいのところ。まあ田舎です。グレーターシアトル圏内という意味のシアトルだよりです。

6 月 29 日の土曜日にシアトルに到着しそのままホストファミリーの家に直行しました。この年でホームステイかと思われるかもしれませんが、それは単にお金の問題です。寮が高かった…ということです。私のホストファミリーはメリンダことミンディという 42 歳ぐらいの女性と彼女のボーフレンドのノエルさん（50 代前半ぐらいかな）です。

着いたその日に疲れていなければ花火を見に行かないかと誘われたので、勿論行きますということで出かけることになりました。こちらはサマータイムで 9 時ぐらいまで明るいので当然暗くなってからの花火です。ノエルさんの息子のジェイコブ君も一緒に出掛けました。

アーバンというところに行き、ショッピングモールの駐車場に車を止め芝生にすわり花火見学。花火というと隅田川の花火を思い浮かべるところですが、ここは尺玉などなく、日本の町内会の打ち上げ花火みたいなやつを数で勝負という感じでバンバン無秩序に打ち上げます。どこが主体の事業なのか最後まで分からずじまいですが行政ではないことは確かです。煙がすごい。帰りは駐車場から出るのに渋滞でどこも同じだなあと思いました。





その翌日ガレージにズラッと並んだ花火をノエルさんが見せてくれるのですが、弾薬庫かと思うほどの花火が並んでいます。これをどうするの？どこかで打ち上げるらしいのですが状況がのみこめません。

7月4日は学校も休みです。ミンディがコストコからデニッシュやらピッツァやら大量に買い込み車に詰め込みます。星条旗の紙皿にコップ、さらにはち切れそうなボディに星条旗のタンクトップを着て盛り上がっています。実際には寒くてたまらないので私はフリースのジャケットを着ます。

車でスパナウエーにあるノエルさんの元奥様のご親類の家に行きます。ガレージの前ではノエルさんが先に来ていて、あの弾薬庫のような量の花火を並べています。外に椅子やテーブルを並べ音楽が流れています。若い子たちは歌ってリズムに合わせて上手に踊っています。5歳のアクストン君は日本でいうところの癩癩玉(ワイズ世代の方はご存じかと思います。)を道路に打ち付け爆発させています。なにぶん5歳は力がないので不発弾が道路に残ります。誰も危ないから止めなさいなどとは言いません。花火も大きな子が手伝ってあげるだけです。「チエコもやりなさい」と5連発打ち上げ花火を手を持たされます。(どこかのお祭りみたい。)閑静な住宅街を住民の車が通ります。車はゆっくり進みお互い会話を交わします。怒る人はいません。向かいの家から2歳くらいの女の子が小さな花火を手私たちに仲間気分で楽しんでいます。手を振り、笑みを交わします。



いよいよ暗くなってくると、つまり9時過ぎからバンバン花火に火をつけます。尺玉ではありませんが、日本では個人レベルではあげられないくらいの打ち上げ花火を上げていきます。ワンプロック先の方でもどこかの家が同じくらいの花火を打ち上げています。そちらの方が程よい距離でよく見えます。音も煙も半端ない。住宅地の数か所で花火が打ち上げられていますが、大半のお家は静かです。花火が終わったのは12時過ぎでした。明日は仕事です。私は学校です。大量のごみを片付けますが、主に男性陣のお仕事で女性はあまりしません。日本だったら大量のお水に花火のカラを入れるところですが、こちらでは普通に箒で集

めて捨てています。危ない気がしますが。



帰りの車で「ご近所から苦情はないの。」と聞くと「このシーズンだから」とのことでした。この日ダウンタウンシアトルでは、多分隅田川みたいな盛大な花火(みたいな)があったようです。帰りのハイウェイからどこか遠くの花火が見えました。ミンディもノエルもダウンタウンの花火は昔行ったけど混むから行きたくないとのことでした。

独立記念日は7月4日ですが、6月29日からお祭り気分で花火を上げるようです。といってもワシントン州では花火は厳しく規制されているようです。地域によっては全面禁止のところもあり、花火ができる地域でも販売ライセンスや期間や時間帯が決められているようです。

兎にも角にも私の留学生活はこのような花火と煙と爆音から始まりました。次回はホームステイについてお話したいと思います。

## YMCA 報告

河合 今日子

### <放課後等デイサービス「クローバークラブ」夏のプログラム終了>

7/21～8/21、日替わりプログラムを行いました。今年が目玉プログラムは、浦和センターと合同で行った都電荒川線の貸し切りの旅でした。車内で歌を大合唱したり、ゲーム大会をしたりして普段できない体験をして楽しみました。今年のはべ 150 人の子ども達が YMCA で特別な夏休みを過ごし、2 学期を迎えています。



### <英語講師研修会-Teacher Training Day>

夏休みプログラムの合間を縫って、埼玉 YMCA の浦和・川越・所沢センターの先生たちが集まり、学びの時を持ちました。先生たちの継続的な学びを大切にしつつ、また秋からも、経験豊かな講師陣による YMCA の英会話クラスと多様な国際&英語プログラムをご用意して、皆さんをお待ちしています。

### <Dynamic Summer オレゴン>

8/10 成田空港で無事に解散しました！ Dynamic Summer のテーマでもある「勇気が自信に変わった日～An experience that will last a lifetime」友達や第 2 の家族ができた事、それは文化や言葉が違ってもしっかり合えるというかけがえのない経験であり、子どもたちのこれからの人生をさらに豊かにし、平和を作り出すその一人になってくれる事を信じています。支えてくださった全ての人に感謝し喜びを持って終了を報告します。

(編集後記)

川越ワイズメンズクラブブリテン 21-3 9 月号をお届けします。

今年の夏は猛暑日が続きましたが、9 月の声を聞くと秋雨前線が停滞して天候が不順な日が多く、西日本では豪雨に被害も出ているようです。皆さんの安全を祈らずには居られません。

川越クラブは新規 CS 事業に向けてのトライアウトを 8 月 27 日に実施しました。最初の実施としては、大変好評であったようです。牛乳パックのモバイル作りなど盛りだくさんで、子どもさんたちの笑顔が印象的なイベントになりました。振り返りでは、様々な課題も指摘されましたが、それらを踏まえて、次回は 9 月 29 日(日)に第 2 回目を実施することになりました。

8 月例会は、トライアウト第 1 回の振り返りも兼ねて納涼例会とし、アメリカン BBQ ガーデンにて楽しいひとときを持ちました。副会長の松川さんが久しぶりに参加され、体調も戻られたようで楽しく歓談させていただきました。以前のようにワイズ活動に邁進していただけると心強く感じました。

利根川太郎